

令和5年度第2回福岡県スポーツ推進審議会

会 議 要 旨

1. 開催日時

令和5年11月20日（月） 10時00分～11時30分

2. 開催場所

公益財団法人福岡県中小企業振興センター 202会議室

3. 出席者

片峯会長

城戸副会長

石橋委員

緒方委員

杉島委員

染谷委員（オンライン出席）

長尾委員

野口（順）委員（オンライン出席）

野原委員

橋口委員

針谷委員（オンライン出席）

松尾委員

山田委員

【司会】

定刻となりましたので、始めさせていただきます。

皆様、本日はお忙しい中出席いただきまして誠にありがとうございます。

私は本日進行を務めさせていただきます、福岡県人づくり県民生活部スポーツ企画課、仲野と申します。よろしく願いいたします。

まず、配付資料の確認をさせていただきます。

本日、皆様にお配りしております資料は、本審議会の次第、合わせてホッチキス止めで出席委員の一覧、それと配席図等を添付しております。

そしてその後ろ資料1、2といたしまして福岡県スポーツ推進計画中間まとめ案について、それと今後のスケジュールについての以上でございます。

なお、事前に送付させていただきました資料から書きぶりなど、一部修正を行っている箇所がございます。ご了承ください。

あわせてお手元に参考資料といたしましてスポーツ推進条例及び逐条解説、現行のスポーツ推進計画及び概要版、昨年度実施いたしました、県民の運動・スポーツに関する調査報告書、福岡県スポーツ推進計画中間まとめ案の概要、次期福岡県スポーツ推進計画に係る施策体系案に対する意見についてをお配りしております。

なお、冊子のスポーツ推進計画及び概要版と、県民の運動スポーツに関する調査報告書の3点につきましては、審議会終了後、回収させていただきます。

それでは、ただいまより令和5年度第2回福岡県スポーツ推進審議会を始めさせていただきます。

本日は、13名の委員にご出席いただき、うち3名の方がオンライン出席でございます。10名の方が欠席となっておりますが、過半数の委員の皆様にご出席いただいておりますので、定足数に達しておりますことをご報告申し上げます。

なお、委員の皆様のご紹介は、委員一覧及び配席図をもって代えさせていただきます。

それでは、ここから審議に入って参りますが、本審議会の議事につきましてはその要旨をまとめ、本県のホームページに掲載することといたしております。

では、ここからの議事の進行につきましては片峯会長、お願いいたします。

【片峯会長】

皆さんおはようございます。

朝早くからご多忙の中、ご参加いただきましてありがとうございます。早速ですが、福岡県スポーツ推進審議会でございますが、皆さんご承知のように、5月12日の第1回の審議会で、服部知事から次期福岡県スポーツ推進計画の策定に係る諮問をいただきました。

本日の審議会では、最終的な答申に向けた中間まとめを行いたいと思います。

前回の審議会でもお話しいたしましたが、非常にスケジュールがタイトでございます。

本県のスポーツ立県福岡の実現に向けましてさらに、貴重なご意見を賜りたいと思っております。

どうか本会議におきましても、新たな方向性を見出すことができますよう、答申をまとめて参りますので、よろしくお願いいたします。

早速ですが議事に入らせていただきます。

前回の第1回スポーツ推進審議会の開催から、本日までの間に開催したワーキンググループの内容と合わせて、福岡県スポーツ推進計画中間まとめ案について、事務局から説明をお願いいたします。

【高木スポーツ企画課長】

失礼いたします。

スポーツ企画課長の高木でございます。本日は、ご協力賜りまして誠にありがとうございます。

初めに事前に資料を送らせていただいておりますけれども、資料をお手元にお送りするのが、大変タイトなスケジュールになりまして、内容のご確認が大変であったろうと思います。この場をお借りしまして、お詫び申し上げます。申し訳ございませんでした。

それでは、説明をさせていただきます。

大変失礼ですが、座って説明をさせていただきます。

それでは資料1、令和5年度第2回福岡県スポーツ推進審議会中間まとめ案についてをお開きください。

今回の福岡県スポーツ推進計画の中間まとめ案を作成するにあたりましては、実

際に事業を実施いたしております、関係団体や有識者からのご意見を計画に反映させるために、（公財）福岡県スポーツ推進基金、福岡県スポーツ推進委員協議会、（公財）福岡県スポーツ協会、（一社）福岡県障がい者スポーツ協会、（公財）福岡県スポーツ振興センター、福岡県総合型地域スポーツクラブ連絡協議会、福岡教育大学、福岡県スポーツ協会競技力向上委員会、こちらに所属されている実務担当者レベルの皆様にご協力をいただきまして、ワーキンググループ等を開催させていただいております。

そのワーキンググループの中では、「e スポーツの取り扱い」、「市町村における障がい者スポーツを推進する施策」、「子どもたちがスポーツの意義、価値を実感する機会の創出」、「スポーツを身近に感じ、親しみを感じることに繋がる施策」の検討といった意見をいただいております。

こうした意見を踏まえ、現在お手元にあります中間まとめ案を作成し、今回、本審議会においてご審議いただきたいと考えているところでございます。

資料1「福岡県スポーツ推進計画 中間まとめ（案）」をお願いします。

まず、目次に示しております計画の構成をご説明いたします。

「はじめに」の項目といたしまして、計画策定の趣旨、計画の性格、計画の期間とさせていただきます。

次に、「計画の基本的な考え方」の項目では、基本理念、スポーツの範囲、スポーツが持つポテンシャル（価値）としております。

続いて、「施策の推進」の項目については、施策体系、展開する施策といたしております。

なお、施策体系5つの柱については、9月1日付けの文書で次期計画策定に係る施策体系案をお示しさせていただいております、施策体系案に関するご意見もいただいたところでございます。

いただいたご意見につきましては、参考資料としてお配りしております、A4横の時期福岡県スポーツ推進計画策定に係る施策体系案に対する意見について、まとめさせていただきますので、後程ご覧いただければと思います。

先日、スポーツ推進計画の施策体系案に係る意見について照会させていただいた資料の中で、最終ゴールとして、福岡県が目指すスポーツの未来像についてお示しをさせていただいたところでございます。

こちらの方もワーキンググループをつくりまして、未来像という形でどのように表現していったらいいかということで、私の方からご提案をさせていただきましたが、有識者の委員の皆様からは、「これまでの県の施策について、既に目的を達成している施策、今まで取り組んできたものの、成果があまり出ていない施策などの分析、調査が必要ではないか」、「未来像とするのであれば、今の福岡県の社会全体がどうなっているのか、県民がどうなっているのか、各地域がどうなっているのか、どういった課題があるのかなどの具体的に分析する必要があるのではないか」といった、ご意見をいただきました。

未来像と申しましても、何年後の未来なのかについて、感覚的にも全く違いますので、そういったところ私どもの方が具体的にお示しをできていなかったところが、各委員もわかりづらいということだと思います。

私どもスポーツ立県福岡の理念のもと、様々な施策を展開いたしまして、現行計画、そして次期計画でも、5年後の福岡県のスポーツのあるべき姿を目指すための目標等を定めております。しかしながら、長期的な視点によって、本県が目指すス

ポーツの未来像を目に見える形にして表したいと考えたとき、先ほど申し上げさせていただきましてとおり、その未来像を表現するのであれば、スポーツシーンだけではなく、県内各地の状況や実施中の施策の課題、こういったものを十分に分析して検討する必要があると考えております。

つきましては、福岡県のスポーツ未来像について、記載を今回は見送ることとをさせていただきたいと考えております。

この件につきましては、この5年間のうちに、次の5年計画にはしっかりと皆様のご意見をお伺いしながら、掲載できるように研究して参りたいと思います。よろしくお願いいたします。

続いて、1ページをお願いいたします。

1 計画策定の趣旨についてでございます。

最後の部分は、現行計画が5年経過することから、引き続きスポーツ立県福岡の実現に向け、総合的かつ計画的に推進するため、新たな福岡県スポーツ推進計画を策定するものです。と結んでおります。

これに至る上段の部分につきましては、5月に実施させていただきました第1回福岡県スポーツ推進審議会で、知事から当審議会に対し、計画策定に係る諮問をいただいております。その中で諮問理由を示されておりますのでその内容に沿って計画の策定趣旨とさせていただきます。

2ページをお願いいたします。

2 計画の性格についてでございます。

令和2年4月に制定しております福岡県スポーツ推進条例におきまして、スポーツ基本法に規定するスポーツ推進計画を定めることになっておりますので、それに基づく計画として、本計画は位置付けさせていただいております。

続いて3 計画の期間についてです。

計画の期間については、来年度、令和6年度からの5年間としております。前回の審議会でもご説明させていただきましたが、令和3年度に国が策定いたしました第3期スポーツ基本計画、そして県政の各分野における施策の方向性を示し、本県の行政運営の指針となる福岡県総合計画におきましても計画の期間は5年間となっております。

こうしたところを踏まえまして、本計画につきましても5年間とさせていただきます。

3ページをお願いいたします。1 基本理念についてです。

前回の計画から、スポーツ立県福岡の理念を掲げ、福岡県のスポーツをより元気に、スポーツの力で、福岡県をより元気という好循環を生み出すため、各種施策を推進しているところでございます。一定の成果を上げているところがある一方、新型コロナウイルスの影響などを受けまして、まだまだ、施策を確実に実行していくことが必要だと考えております。

こうしたことから、今回の計画におきましても、このスポーツ立県福岡の理念は継続させていただき、その実現に向け取組を進めたいと考えております。

4ページをお願いいたします。2 スポーツの範囲についてです。

福岡県スポーツ推進条例では、スポーツを心身の健全な発達、健康及び体力の保持増進、精神的な充足感の獲得等のために、個人または集団により行われる運動競技、その他の身体活動、レクリエーションとして行われる身体活動等を含むと定義しております。

この考え方を踏まえ、勝ち負けや記録等を競う競技スポーツのみを表すのではなく、幅広い概念の身体活動として捉えることとしております。一方で、近年急速に新たな協議が生まれるなどの状況を踏まえ、スポーツの範囲については、常に新たな視点を持って検討していく必要があると考えているところでございます。

また、四角囲みでeスポーツのとらえ方について記載をさせていただいております。

まずここで、日本学術会議が示しておりますが、これは、令和2年6月に日本学術会議が「科学的エビデンスに基づくスポーツの価値の普及の在り方」として提言をしたものです。その中で、eスポーツについては、そのスポーツの価値の多様化として、一定評価する一方、ゲーム依存などの側面も考慮しながらスポーツ施策を決定していかなければならないとされております。また、国の基本計画におきましても、eスポーツの捉え方を含め、バーチャルとスポーツの関わりについて検討していく必要があると示されております。

県といたしましても、そうした動向も注視しながら、その活用について継続的に検討していきたいと考えております。

ページ下段の3番 スポーツが持つポテンシャル、価値についてでございます。

スポーツは、それぞれの活動の中で、楽しさや喜び、勇気と感動を与え、生涯にわたり心身ともに健康で文化的な生活を営む上で大きな役割を果たすものだと思います。そのため、スポーツのポテンシャルを見極めながら、スポーツが担うべき目的を見据え、スポーツにより何ができるのか、そのためにスポーツはどうあるべきなのか考える必要があると思っております。今日の急速に変化する社会情勢の中、柔軟に対応できるよう、スポーツの在り方と活用方法を常に検討しなければなりません。スポーツを通じた、経済活動や地域振興への貢献、SDGs やワンヘルスといった世界共通の課題への取組など、より多くの分野で貢献できるよう努めていく必要があると考えております。

6ページをお願いいたします。施策の推進についてです。

本計画の基本理念であります、「福岡県のスポーツをより元気に」と「スポーツの力で福岡県をより元気に」の2つにⅠ スポーツ活動の推進、スポーツを推進する人材の育成、スポーツを推進する環境づくり、スポーツを通じた地域と経済の活性化、そして最後Ⅴ スポーツを通じた社会課題の解決の5つの目標を柱として掲げさせていただいております。なお、参考資料としてお配りいたしておりますA3カラーの「福岡県スポーツ推進計画中間見直し案の概要」と一緒にご覧いただければと思いますので、よろしくをお願いいたします。

柱の考え方としましては、「Ⅰ スポーツ活動の推進」から「Ⅳ スポーツを通じた地域と経済の活性化」につきましては、令和2年度に制定した福岡県スポーツ推進条例における基本的施策に基づき、柱として掲げています。

「Ⅴ スポーツを通じた社会課題の解決」については、福岡県スポーツ推進条例に記載はございませんけれども、世界的に取り組まれているスポーツを通じた共生社会の実現やSDGsへの貢献、そして本県が重点施策として取り組んでおります、ワンヘルスの推進についても取り組んでいく必要があると考え、5つ目の柱として掲げさせていただきます。

7ページをお願いいたします。

現行計画では、福岡県の現状として「県民のスポーツ活動の推進」や「子どものスポーツ活動」などをまとめておりましたが、今回の計画では、それぞれの柱ごと

に「現状と課題」を整理し、そのあとに具体的な取組を記載することとしております。

これから本文の説明をさせていただきます。現在実施している基本的な施策につきましては、今後もしっかり取り組むことが重要でございますけれども、本日の説明にあたっては、時間の都合もありますので、現行計画の策定時にはなく、その後、新しく実施しているものや今後新たに実施するものを中心に説明をさせていただきますので、ご了承ください。

まず柱の「I スポーツ活動の推進」についてですが、この柱に紐づく小項目を、7つに分類しています。

中間まとめ案の11ページをお願いいたします。(1) 県民のスポーツ活動への参加の促進です。4つめのポツになります。後段のクラウドファンディングの場の提供については、福岡県スポーツ推進基金が取り組む事業で、アスリートを支える重要なツールとなっています。また、2つ下のポツですが、スポーツの範囲のところでお話をさせていただきましたとおり、eスポーツが県民にどのような効果をもたらしてくれるのかを検討して参りたいと考えております。

続いて(2) 生涯にわたるスポーツ活動の推進でございます。次のページをお願いいたします。一番上のポツになりますけれども、アーバンスポーツに係る取組を行っているもので、東京オリンピックを契機に事業を開始したものでございます。

(3) 子どものスポーツ活動です。後ほどご説明いたしますが、スポーツ実施率について、本計画でも成果目標として定めたいと考えております。生涯にわたりスポーツを実施したいと思えるためには、やはり子どもの時代の運動・スポーツとの関わりが重要であると考えております。そのため、記載の各種施策をしっかりと取り組むことで、このようなことにつなげていきたいと考えているところでございます。

13ページをお願いいたします。

(4) 高齢者のスポーツ活動の推進と(5) 女性のスポーツ活動の推進については、高齢者に特化したもの、女性に特化したものとして施策を挙げさせていただいておりますが、前ページの生涯にわたるスポーツの活動の推進に掲げる施策と一体となって取組をしっかりと進めて参りたいと考えております。

(6) 障がいのある人のスポーツ活動の推進です。次のページの一番上でございます。県内小中高等学校の生徒が特別支援学校に赴き、障がいの有無にかかわらず一緒にスポーツを楽しむことができる交流会を実施するものです。障がいのある人のスポーツの実施率は障がいのない人と比較すると、まだまだ低い状況にあるため、情報の発信やスポーツができる機会の提供にしっかりと取り組みたいと考えております。

(7) スポーツを通じた健康増進です。

現行計画から継続事業が中心でありますけれども、県民運動として展開する、福岡県健康づくり県民会議を中心に様々な施策に、引き続き取り組んで参ります。

15ページをお願いいたします。成果目標についてです。

1つ目の成人の週1回以上のスポーツ実施率については、現行計画の目標65.0%は達成できなかった指標となっておりますけれども、次期計画では国の第3期スポーツ基本計画の目標数値でもあります70.0%を設定したいと考えております。

その下の障がいのある成人の週1回以上のスポーツ実施率についても、現行計画の目標を50%は達成いたしておりませんが、引き続き、50.0%を設定したいと考えております。

障がいのある人のスポーツ活動の推進に関する成果目標としては、その2つ下の障がい者が参加できるプログラムを提供している総合型地域スポーツクラブの割合を100.0%にすることを目標として設定したいと考えております。

また、子どもに関する成果目標として、体育授業を除く1週間の総運動時間が、60分未満の児童生徒の割合を、小学校男子4.3%、小学校女子7.5%、中学校男子4.4%、中学校女子10.3%を目標値としたいと考えております。

その他、スポーツイベントの開催件数、卒業後にも運動やスポーツをしたいと思う児童生徒の割合、体力テスト総合評価C以上の児童生徒の割合を指標として設定したいと考えております。

次に、柱の「Ⅱスポーツを推進する人材の育成」ですが、この柱に紐づく小項目を2つに分類をいたしております。

17ページをお願いいたします。

(1) アスリートの発掘・育成の1つ目で、福岡県タレント発掘事業の施策に引き続き取り組んでいくとともに、2つ目には、パラスポーツの分野にも拡大している発掘・育成システムであるパラスポーツタレント発掘事業に係る施策にも取り組んでいきます。

18ページをお願いいたします。

(1) アスリートの発掘・育成の項目の最後のポツになります。

県の関係団体として、公益財団法人福岡県スポーツ協会、同じく公益団法人福岡県スポーツ振興センター、そして、公益財団法人福岡県スポーツ推進基金といった団体がございますが、アスリートファーストとしての団体のあり方の最適解について研究をしていく必要があると考えております。

次に(2)指導者等の育成・活用についてです。4つ目のポツですが、アスリートが現役中、引退後に安心してキャリアを形成することは大変重要なことだと考えており、引き続き、セカンドキャリア・デュアルキャリアに取り組むこととしております。

19ページをお願いいたします。

下から2つ目のポツですが、県独自の指導者認定制度を検討するをいたしており、運動部活動の地域移行に際し、令和5年3月に策定しております地域クラブ活動の構築に向けたガイドラインにも記載しておりますが、指導者の質の確保に向けて、今後検討を行うこととしております。

成果目標については、国民スポーツ大会における成績、福岡県スポーツリーダーバンクへの登録者数、この2つを指標として設定したいと考えております。

今年度の国体については、7位と素晴らしい成績を収めております。目標としては、令和10年度まで8以内入賞を続けていきたいと考えております。

次に柱の「Ⅲスポーツを推進する環境づくり」に紐づく小項目を5つに分類しております。この柱における新たな施策についてご説明いたします。

21ページをお願いいたします。

(1) スポーツ施設の整備と有効活用の促進です。県民がスポーツ活動を行うためには、その場が必要となります。場としての環境の整備にしっかり取り組んで参ります。

(2) スポーツに関する情報の提供です。県民がスポーツに触れ合い、身近に感じていただくためにも「する」「みる」「ささえる」ための、情報をしっかりと提供していくことが重要だと考えておりますので、これからも、効果的に発信ができる

よう努めて参ります。

22 ページをお願いいたします。

(3) スポーツにおける健全性の向上、事故の防止です。

最後のポツになりますが、スポーツ団体ガバナンスコードに係るセルフチェックシートの活用の取組といたしまして、チェックシートの活用とその公表を求めたいと考えております。なお、次ページで掲載しておりますが、活用、公表する団体数を指標として定め、計画最終年度には、すべての団体が実施する目標を設定いたしております。

(4) のスポーツにおける DX の推進です。

国の基本計画にもこの点については掲げられておりまして、次期計画においても前回から新たに取入れた視点の1つでございます。内容は記載のとおりでございますけれども、特に3つ目の、デジタル技術を活用した先進的なトレーニング方法等の研究については、我々が見聞きするもの以上に、デジタル技術というものが進んでいる状況にありますので、そうした技術をどのようにアスリートに対して提供・還元できるのかを検討していきたいと考えております。

(5) 子どもたちが安心して活動できる環境の整備です。

運動部活動の地域移行に関しまして、子どもたちが安心してスポーツを楽しむ・活動できる環境を整備しなくてはなりません。指導者であったり、受入れる地域クラブであったり、まだまだ課題がございますが、しっかり進めていきたいと考えております。

成果目標については、先ほど申し上げましたスポーツ団体ガバナンスコードに係るセルフチェックシートの活用・公表と、部活動改革に取り組んだ市町村数、この2つを指標として設定したいと考えております。

次に、柱「IVスポーツを通じた地域と経済の活性化」に紐づく小項目を5つに分類させていただいております。

25 ページをお願いします。

(1) 大規模スポーツ大会等の誘致・開催です。2つ目のポツですが、大規模スポーツ大会の誘致開催には、これまでもしっかりと取り組んで参りましたが、今後も引き続き、しっかりと取り組んで参りたいと考えております。

今回、初開催いたしました自転車ロードレースのツール・ド・九州では九州各県や経済団体と連携して大成功に導くことができました。引き続き、取り組んでいきたいと考えております。

また、最後のポツですが、これは大規模大会の開催には、相当程度の規格の施設が必要となりますが、県有施設では十分でないことから、新たな施設の建設が望まれます。一方、その建設には多額の費用が必要となることなどのため、長期的な視野に基づく検討が求められます。そのため、まずは各競技大会の開催に必要な施設を調査するとともに、県内のスポーツ資源の状況を把握し、その資源の活用の検討を行う必要があると考えているところでございます。

(2) スポーツを通じた県の魅力発信・観光振興です。次のページの一番上のポツをご覧ください。ポータルサイト FUKUOKA IS OPEN において、スポーツ分野での国際的な取組の発信を通じて、県の魅力発信をしていきたいと考えております。

(3) スポーツを通じた国際交流です。

1つ目のポツですが、具体的に申し上げますと、ハワイ州やオーストラリアのニューサウスウェールズ州と覚書を締結し、バスケットボールや野球に関する交流を

進めているところでございます。また、3つ目のポツについては、素晴らしい素質を持っているにもかかわらず、スポーツを行う環境が不十分な海外のスポーツ後進国の選手たち、人たちに対し、本県が先進的に進めてきた福岡県タレント発掘事業により得られたノウハウを活用しながら、本県内に招いて強化をする、または、スポーツ後進国の母国で強化を行うこと支援できればと考えております。将来的にそうした選手が、世界大会で活躍することで、福岡県のスポーツの価値がワンランク上がることに繋がるのではないかと考えているところでございます。

(4) スポーツを活用した地域振興でございます。

2つ目のポツですが、県内には多くのプロチーム、また、トップリーグへの参入を目指しているチームがあります。こうしたチームと連携した地域貢献活動というのは、地域の振興との親和性が非常に高いと考えております。次のページの成果指標に記載していますが、そうした連携事業を立ち上げていきたいと考えております。

(5) スポーツの成長産業化です。

1つ目のポツですが、これまで大規模大会の誘致・開催に取り組んできたところでございますが、新たな視点を持って、収益が見込めるスポーツ大会・イベントを自ら企画・開催することで、その収益をスポーツに還元する金銭的な循環を形成していきたいと考えているところでございます。

27ページをお願いいたします。

成果目標については、ご説明させていただきました、収益が見込める大会の企画・開催数、プロスポーツチームのとの連携による新事業の立ち上げ数、この2つを指標として設定したいと考えております。

28ページをお願いいたします。

次に、柱「Vスポーツを通じた社会課題の解決」に紐づく小項目を3つに分類させていただきます。

(1) スポーツを通じた共生社会の実現です。

次のページの一番上のポツになりますが、競技団体における女性の登用に係る取組内容を記載しております。地方組織は、その多くが法人格を持たずに、少数のボランティアが運営するなど、人的、財政的基盤が極めて脆弱な団体もあるという実情でございます。女性競技者の増加等を通じた競技の更なる普及や発展、スポーツを通じた女性の社会参画・活躍を促進する観点から、競技団体等における女性役員の登用を進めることで、女性の視点を取り入れた競技団体の運営や組織体制の構築に繋げるため、競技団体との意見交換を行いながら、働きかけを行っていくことが必要でないかと思ひ、このような取組を記載しております。

また、スポーツには、人間性や社会性を育てる力がございます。すべての人が分け隔てなく、スポーツを楽しみ、互いを理解し、尊重する共生社会を実現するためにも、スポーツが持つポテンシャルを最大限活用していきたいと考えております。

(2) スポーツを通じたSDGsへの貢献です。

1つ目のポツですけれども、毎年スポーツイベントにおける、後援業務といたしましては、200件近い申請が私どもの方に上がっているところです。今後は、その申請の中で各主催者がイベントを通じたSDGsの取組として実施している情報を収集・集約し、その情報を他の主催者に提供することで、SDGsの取組を広げていきたいと考えております。

30ページをお願いいたします。

(3) スポーツを通じたワンヘルスの推進です。

ワンヘルスとは、人と動物の健康と環境の健全性を一つととらえ、一体的に守っていくという考え方です。これは福岡県が重点的に進めている施策の一つになります。

今年、福岡市で開催された世界水泳につきましても、新型コロナウイルスの影響で2度の延期を余儀なくされました。またその間、学校部活動につきましても完全に実施ができなくなる、努力の発表の場である大会が失われるなど、スポーツを止めざるをえない状況がございました。こうしたことから、スポーツ大会・イベントにおいて、このワンヘルスの理念を発信していくことは大変意義深いものと考えております。

スポーツもワンヘルスの理念に基づく環境があつてからこそということで、このような考えを発信していくべく、取組を記載させていただいているところでございます。

成果指標につきましては、ご説明させていただきましたSDGsの取組を行った大会数、ワンヘルス理念の発信回数、この2つを指標として設定したいと考えております。

駆け足になりましたけれども、説明は以上でございます。

それでは、忌憚のないご意見をいただければと思います。どうぞよろしく願いいたします。

【片峯会長】

事務局からわかりやすい説明いただきました。

ここで、本日欠席の委員から、事前にご意見を賜っております。今回、お一方ですけど、瀧委員の方から意見、提案がございます。ご紹介をお願いいたします。

【司会】

それではご紹介させていただきます。

福岡こども短期大学 瀧委員からです。

幼児期は、親子で一緒に参加できる遊びの環境やスポーツに取り組む機会があれば、親子でふれあい、楽しく体を動かす機会となり、様々な動きを体得することができます。また、体の器用さの獲得に合わせて、情緒面も社会性も発達していくことが考えると、このような機会を多く提供していくことが重要であると思います。

資料1の(3)子どものスポーツ活動の推進の中に「幼児期から、体を動かす習慣を身に付けさせるため、地域で子どもと家族と一緒にスポーツを楽しめる機会の充実を図ります。」とありますが、具体的な取組としてどのような内容を検討しているのか、お伺いしたい。また、このような機会を提供するために、支援者や支援団体との連携を図っていくことも必要だと考えますが、この点について、市町村レベルでの検討になるのでしょうか。できるだけ継続的な取組になるよう願っております。

以上です。

【片峯会長】

ありがとうございました。

これで説明が終わるわけですが、皆様方に、施策の体系案に対するご意見を賜り、A4の紙で回答、対応ということで書かれております。

まず、先ほど瀧委員の方から出たご意見に対して事務局の方からご意見賜りたいなと思います。他については、このA4の方にまとめてありますが、瀧委員の意見についてのご意見賜りたいなと思います。そして皆様方からご意見を賜ろうと思います。お願いします。

【中島スポーツ振興課長】

スポーツ振興課の中島でございます。

瀧委員からのご意見に関しまして、私の方からご回答させていただきます。

子どもと家族と一緒にスポーツを楽しめる機会の充実ということで、具体的にどのような取組にあるかというご質問・ご意見でございます。

これまでに具体的に実施してきたこととしましては、スポーツフェスタふくおかという大きな大会をやっておりますが、その一環として生涯スポーツセミナーでの取組をご紹介させていただきます。

今年の3月に県内のプロスポーツチームの皆さんにご協力をいただきまして、筑後広域公園の体育館の方で、いろんなスポーツ、野球、ソフトボール、サッカー、ラグビー、色々なプロスポーツチームが提供できる体験メニューを1か所の体育館で楽しんでいただけるというイベントを開催したところです。

ここには、幼稚園、小学校を中心に周知をかけましたものですから、ご家族でのご参加があったところがございます。また、同じ生涯スポーツセミナーといたしまして、今年の10月には、ももち浜の海岸でビーチサッカーを初めとしまして、海岸でできる色々なアクティビティ、スポーツを集めたイベントを開催しました。こちらでも、周知期間が短かったにも関わらず、ご家族連れがたくさん来ていただき、1日浜辺で遊んでいただいて盛況に終わったところです。こういったイベントになりますがこれを何回も県の方で実施するというのは難しいのですが、プロスポーツチームと一緒にやったというノウハウやビーチでやったというノウハウ、そうしたものにつきましては、市町村の皆さんと一緒に研修を行う機会等がございますので、そこでノウハウを提供いたしまして、市町村の方にも広めて参りたいと思っております。

また、関係団体といたしまして、レクリエーション協会の皆様には、昨日も福岡駅伝というイベントとの同時開催事業としまして、子ども遊びフェスタというのを筑後広域公園でやっていただきました。ここにも、たくさんご家族連れで、スポーツ体験、レクリエーション体験をしていただいたところがございます。

また、レクリエーション協会につきましては、子どもの遊び場、居場所づくり事業などといった子どもを対象にした事業をやっていただいておりますので、こういったレクリエーション協会や、総合型地域スポーツクラブの方のご支援を通じまして、子どもの運動環境づくり、家庭で運動に楽しめる環境づくりといったものを行って参りたいと考えております。以上です。

【片峯会長】

ありがとうございます。

この件については、事務局の方から瀧委員の方に説明等をお願いしたいなと考えています。それでは、本日、事務局から説明があった内容等を踏まえて、皆様から

ご質問等ございませんでしょうか。

【長尾委員】

部活動の地域の移行の話や指導者をどのように決めていくかなどの課題、それと、スポーツを通じてというテーマで民間の動きが今、あちこちで出ています。1つ気になっているのは、兵庫県が「ひょうごアスリート応援団」というのを立ち上げています。

その一つ前は、監督が怒らないスポーツ指導者のあり方ということも話題になりました。指導者資格など、今後検討されていくと思いますが、そのような資格や協会が認めるというのも当然ですが、監督が怒らないというのはパワハラなどにも繋がっていくことだろうとは思いますが、他の県でそのような動きがあります。

福岡でもそのような民間の動きが今、出てきているのかどうか、もし出てきていなければ、調べていただきたいと思います。

それと、九州のスポーツを元気にするというテーマで協議する場があり、スポーツが好きな方、スポーツをやられている方、プロの人など100名ぐらい集まっていました。パネルディスカッションもあり、特にこの前優勝したアビスパ福岡、ライジングゼファー、北九州のフットサルチームのボルクバレット北九州、北九州地域のプロ野球の地域リーグの北九州下関フェニックス、Tリーグ卓球の九州アステアーダ、バレーボールの福岡ウイニングスピリッツ、その方々がパネラーとして、運営のあり方、課題、どのように進めているのか、というのを皆の前で色々な話し合いがされて、とにかくスポーツで九州を元気にしようと、そうした民間の動きが出てきているので、地域と一緒にというテーマの中で、関係を持つであったり、調査をする、話を聞くなど、そのようなことも、具体的な作業として入れていただいて、調査をしていただきたいなと思いました。以上です。

【片峯会長】

今、長尾委員の方からお話ありましたけれども、ちょうどスポーツが3年から5年、移行期で大きく変わるだろうと、事務局の方から説明ありましたように、課外活動地域移行と、これは競技スポーツだけではなく、子どもたちの体力、あるいはスポーツは楽しく汗を流して友達づくりなど、そのような魅力も学校体育にも関係してくるのではないかというのが一つ。

もう一つは、ご承知のとおり大学でも非常に不祥事が多くて、ガバナンスとして理事と評議員を分けようといった話や、競技団体のチェック機能ももちろんですけど、そういったものを福岡県がどのようにしていくのかなというのと同時に、県独自の指導者認定制度についても、評価を設けなければなりません。それが、長尾委員が言われた、福岡県の魅力づくりとして、兵庫県が立ち上げたように、そのような各関係機関とやりとりしながら、どのような指針を策定されるのか。具体的などころまでいかななくても、その私案を出していただきたいなと思います。そのためには、現状の把握から今後の課題、そして、計画というのが大事になりますので、私も知りたいし、そのところについて、事務局の方から何かありましたらお願いいたします。

【中島スポーツ振興課長】

まずは、運動部活動の地域移行に関しまして、地域移行にあたっての受け皿を作

るという方を、私どもの課の方で担当させていただいております。

先ほどから指導者資格の認定制度を作るという話がありますが、概数で申し上げまして、地域移行にあたって中学校部活動の指導者が約県内で1200人ぐらい不足するのではないかと。学校の先生が携わらなくなるであるとか、そういったところを考慮したときに1200人ぐらい足りないのではないかとという数字を押さえております。部活動が地域に来たときに、地域で指導者を見つけていくということが必要だと思っています。

ただ、その際に先ほどガバナンスとか、怒らない指導とかいうのがありましたけれども、どなたでもいいということではございませんので、ある程度の指導者の資質や指導力、また学校に対する理解、子どもたちの成長、健康状態に対する理解、そういった最低限の知識等をお持ちいただける方々を養成していく必要があると思っております。そのようなことができるような研修・養成をやっていかなければならない。

しかも、移行期間が休日の部活動に関しましては、あと2年が移行期間とされておりますのでこの2年の間に何とかやっていかなければならないと思っています。かつ、そういった方々を養成しましたということだけでは駄目ですので、地域と学校を繋いでいく、総合型地域スポーツクラブが受け皿になるのであれば、そこと養成した指導者を繋げていくなど、そういったシステムが必要だと思っております。先ほど、子どもと家族でスポーツを楽しむ機会づくりということで、プロスポーツの皆さんに協力いただきましたというお話を差し上げましたが、プロスポーツコンソーシアムというのを、福岡県でも作っております、県内のプロ、セミプロの21団体が入っておられまして、そういったところにご協力いただいて先ほどご紹介した、体験活動・体験イベントというのが可能になりました。

部活動の地域移行に関して、プロの方々とどの程度、連携できるかというのは未知数ですけれども、民間の方では例えば郵便局が日本スポーツ協会と、協定結ばれて、郵便局員がその勤務時間中に部活動をサポートするといったような動きも、民間では出てきているようですので、この動きは他の企業にも出てくるかと思えます。

県も、30近くの企業様と包括連携協定を結んでおりまして、その連携協定の中には、スポーツの推進とか、青少年の健全育成という項目がありますので、今後の動きになりますけれども、そういった企業様にお声掛けしていったら、部活動に関わっていただく、子どもたちのスポーツ活動に関わっていただく、といった動きを作っていけたらなと思っております。具体的にそれを今、中間まとめの中に書き込んでいるかということ、まだ具体的ではないですけれども、事務局としましてはそういったことを構想しておるところでございます。

【片峯会長】

長尾委員よろしいですか。

【片峯会長】

ぜひ、福岡県にはプロチームがありますし、この県独自の認定制度、単に県主導型ではなくて、プロチームのメンバーが入ったり、学校体育スポーツの関係が入ったりとか、競技団体が入ったりとか各セクションである教育委員会の体育スポーツ健康課もありますし、アクションも全部入って、もしするのであれば、福岡県独自の兵庫県に負けないぐらいの認定制度を立ち上げて、うまく地域移行ができたらな

という期待しております。
よろしくお願ひします。
他に何かご質問ございませんでしょうか。

【城戸副会長】

福岡県スポーツ協会でございます。

第1回の審議会を受けまして、私どもが述べさせていただきました内容につきましては、競技力の向上のための体制整備に関することや、スポーツのSDGsに関することについては、今回大変ご配慮いただきましたことに対し、感謝を申し上げます。ありがとうございました。

そこで、もう1点ですが、前回も少し触れさせていただきましたけども、各競技団体の組織についてでございます。競技団体の組織につきましては、先ほどからも出ていますように、様々な問題抱えるところが今多くございまして、競技団体の運営、それから、競技団体のガバナンス等々についても、福岡県の競技団体に気を使っていたいております。

そうした中で、前回も申し上げましたが、競技団体がいわゆる協議等を行える場の設定につきまして、場と申しましてもいわゆる機会ではなく、場所の設定について、将来にわたり、検討ができないか、そういった記載を盛り込めないかということをお願いしておりましたが、情報の提供については、具体的に書いていただいておりますが、提供と同時に、競技団体が共有するという場も必要ではないかということで、来年度からの5年間、もしくはそのあとの5年間に実現するかどうかわかりません。

今回も未来像について今回は掲げないということをおっしゃいましたけども、ずっと継続的に競技団体、競技スポーツも含めて、競技団体が管轄している内容につきまして、よりスムーズに情報が共有できるような場の設定という方法を入れていただきたい。検討をする必要があるということでも結構でございますので、今後の検討課題として記載ができないかと思っておりますのでございます。以上です。

【片峯会長】

スポーツ協会の方から、競技団体に関する意見が出ましたけど、事務局の方、いかがでしょうか。

【高木スポーツ企画課長】

ありがとうございました。

そういった競技団体の皆様が一堂に会することで、入ってきた情報をすぐに共有するであるとか、福岡県のスポーツとしての方向性を出すのに非常にスピーディーに、しかも統一感のある見解が出しやすいのではないかと思います。

国が、そういった形で一つのビルの中に、たくさん競技団体が事務局を構えていて、そういうシステムもございますので、福岡県でもというご意見をいただきました。

今現在ですね、18ページの(2)の上のポツ、(1)の最後のポツになりますけれども、ここの部分は、スポーツを推進する人材の育成としての一番最後の部分になります。

競技団体側からの目線ではなくて、アスリートを支援していくための組織として

どうあるべきかということで、ここの最後のポツ、強化活動支援に係るアスリートのというところがありますが、最後の方の文章の中で、スポーツ関係団体の在り方について研究を行いますと示させていただきました。

この在り方の中に、包括させていただこうかなと思っていたのですが、実際にここに入るイメージを持ってないということだと思いますので、どのように書けるのかということは、教育委員会の体育スポーツ健康課の方が、競技団体の所管、窓口になりますので、一緒に検討していきたいと思っています。

この件について、かなり想定しましたがけれども、どこかにビルを借り上げて、そのビルの中に競技団体に入らせていただくとすると、競技団体が毎月の家賃の支出をするのか、それとも県として予算化をするべきなのか。

例えば、そこに来られる競技団体の中には本当に人数が少なく、ご自宅でやられている競技団体の方もいらっしゃいますので、そうすると会社が終わった後に、自宅で仕事ができていたところが、会場に行かなければならないとなると、厳しいことになるのかなとか、逆に、自宅でされているときに、じゃあ会議するとなったら、家に皆さん集まるわけにはいかないと思います。おそらく、競技団体の形によって随分利便性が変わると考えています。予算の問題、場所の問題、そしてどうすれば、各競技団体の皆様にとってプラスになるのかということ、城戸副会長におっしゃっていただいたように少し時間をいただきながら検討していく必要があるかと思いますが、競技団体の皆様の方に今後ヒアリング等もさせていただきながら、まずは研究をしていきたいと思っています。

記載につきましては、また検討させていただいて、明確にどこまで書けるかわかりませんが、検討していきたいと思っていますのでよろしくお願いします。

【城戸副会長】

ありがとうございます。宜しく申し上げます。

【片峯会長】

オンラインの出席の委員の方も含めて、他に何かございませんか。

【針谷委員】

今日リモートで、失礼します。針谷と申します。

いろいろご説明ありがとうございます。

26 ページのスポーツを通じた地域と経済の活性化の中のスポーツの成長産業化という項目がありますが、収益を見込める観戦・鑑賞型、参加・体験型のスポーツ大会・イベントというのを詳しく教えていただければと思います。

【高木スポーツ企画課長】

スポーツ企画課の高木でございます。

収益を目的とした大会・イベントですけれども、私たち今まで大規模大会の誘致というものをやってきて、直近で言うと世界体操・新体操あたりがございましたけれども、こういった大会というのは、国際協会がしっかりとそのルール、パッケージを持って進めていくものでありますし、国際協会に対して、大会を開催するときにかかなりの額を払わないといけません。

そういったことで、県民の皆さんにとっては大変喜んでいただける素晴らしい機会ではありますが、県としての支出は非常に大きく負担が大きいので、そんなに頻繁に開催していくことが難しい状況であります。そのため、組織の本来ある大会とは別に、収益が見込める大会を自ら作っていく。例えば、そういう競技団体の縛りが少ない、アーバンスポーツが活発に行われておりますけれども、こういう大会の中で、昨年度も北九州市の方で、ブレイキンというブレイクダンスの世界大会をやりましたけれども、このような団体というのは、自分の意志で大会を選べるようになっていきますし、非常に若者にも人気が高いものでございます。また X ゲームズというのはご存知でしょうか。

バイクのジャンプと、それからスケートボード、それから BMX 自転車、こういうものをセットにして一つの会場で大会をするものになります。アメリカで大変人気な競技でございます。その名前を使って、千葉で 3 年間、X ゲームズが行われておりまして、来年まで千葉であります。これも大変大きなお金が動きます。レッドブルがメインスポンサーだったと思いますが、このようなビジネス的なもの、そうしたところに、県内の観光、それから魅力的なところの食事、そういったものを合わせ、パッケージ化し、インバウンドの方々をできるだけ多くお招きできるような、高付加価値を持ったチケットであるとか、それから多くの方々に見ただけの通常のチケットなど、そういったものを構成しながらと思っています。以上でございます。

【片峯会長】

今、事務局の方からお話がありましたように、来年パリオリンピックがあります。

アーバンスポーツの方も、随分と脚光を浴びて、今はもうパリのオリンピック、全競技行きますが、私陸上ですけど、チケットがものすごく高くて、何万そして最後のマラソンの時は何十万というふうに、スポーツ商業も経済が豊かじゃないと強くないんじゃないかと思うくらいのご時世でございます。

財源確保というの、今後ますます真剣に考えていかなければならない時代に突入すると思っておりますし、針谷委員の方からアドバイスがありましたら、また事務局と綿密にご相談していただければ幸いに思います。よろしいでしょうか。

【針谷委員】

はい。

ありがとうございます。

【片峯会長】

他に何かございませんか。

【緒方委員】

レクリエーション協会の緒方です。

この会議に出る度に、色々な施策の項目が増えて、手一杯ではないかというようなことを心配していますが、しなければならぬこともたくさんだし、スポーツも多様化して、障がいのある方達、それから先ほど出た e スポーツといったジャンルを増やす必要はあるかと思っておりますけれども、余りにも多くなりすぎて、全てが手薄

になって目標値に達しないということになると、とても心配なので、お願いみたいな形ですけれども、あまり欲張らずという言い方が正しいかわかりませんが、本当に絞るところは絞ってという形で進んだ方がいいのかなというのは思いました。

その中でレクリエーション協会としては生涯スポーツの推進ということを進めているわけで、子ども、高齢者、女性の環境、それから障がいを持った方たちのスポーツ環境、全てにおいて総合型地域スポーツクラブの方が担うのではないかなと思いますけれども、その時にそちらのクラブが1施設で全てのことを担うとなると、大変だろうと思います。

活発にされているクラブもあれば、そこまではなかなかできないというクラブもあると思いますので、そういった総合型地域スポーツクラブの方とも協議しながら、計画に記載したものが、記載しただけで終わるのではなく、どんどん目標値に近づくように私の団体も含めて、みんなで頑張っていきましょうというか、これからも密に協議をしながら、目標値に向けて、すべて達成できるように頑張っていきたいと思います。しかし、本当に絞るというところで、今回は、全てではなく、何かこれは絶対するぞという、何か一つでもこれだというものを示していただけたらそれに向けて、団体としても頑張らせていただきたいと思いますなと感想も含めて意見を述べさせていただきました。

【片峯会長】

貴重なご意見ありがとうございます。

緒方委員の方からお話あったように総合型地域スポーツクラブやスポーツ推進委員、そのような方々との連携で今後、地域がより元気に、そして地域移行のクラブになっても、ますます発展する期待、希望があるので、そこも踏まえて、事務局の方で何かありますか。または、指針等ありましたら、アドバイス方ご意見をお願いします。

【高木スポーツ企画課長】

失礼いたします。

緒方委員、ありがとうございます。

本当に色々なことを考えながら、冒頭ご説明をさせていただきましたが、まだまだ達成できていなかった現行の計画の方も継続的に補いながら、戦略的に進めていかなければいけないところを載せさせていただいているところでございます。

本来で言うと、国の計画のように、トピックス的に今回はこれでいくよというように出せばいいのですが、私たちが作っていくこの計画をもとに参酌して、市町村の方も、参考にされるであろうということもございますので、なかなか通常どおりやるべきところや、それからこれはもう市町村の方をお願いしていいかなと思うところもあります。県としてもここに記載をしておかないとそれが市町村でも消えてしまう可能性も出てきたりするかなということもございまして、掲載をさせていただいているところでございます。しかし、おっしゃっていただいたように、結果、何をやるのが全体としてぼけてしまうこともございますので、今後、次の計画の策定にあたりましては、ご意見いただきましたとおり、しっかりと次の5年間を見据えた上で、皆様にご意見を賜りながら、やらせていただきたいと思います。

いただいたご意見を参考にもう一度、こちらの計画も見直しはしてみたいと思います。宜しく申し上げます。

【片峯会長】

ありがとうございます。

最後ですけど、ご質問ございませんでしょうか。

【橋口委員】

九州ラグビー協会の橋口と申します。

今日は会議の設定等いろいろとご尽力いただきましてありがとうございます。

まだ不勉強で質問がいっぱいありますけれども、時間も限られているので、一つだけにしたいと思っておりますけれども、今回、大規模スポーツ大会の誘致、開催等が計画の中にありますが、その中で競技団体などにヒアリングされて、どのような施設が必要なのかや大会を実施するためには、こういったものが欲しいとかというようなヒアリングをされるのだらうと思っておりますけれども、そういったハード面のことも重要だと思っておりますけれども、こういう大規模のスポーツ大会であったり、特に国際大会となると、ボランティアの力というのがどうしても必要になってくると思えます。計画の中でボランティアを積極的に活用しますと記載はありますが、そういった国際大会とかになった場合のボランティアの育成とかについては、どのようにお考えなのかなど。

もう既にそういったことをされているのかもしれないので、されているようでしたら現状を、もしまだ、そこまでではないということであれば計画を教えてください。

【高木スポーツ企画課長】

ありがとうございます。

おっしゃっていただいたとおり、本当にボランティアの力がなければできなくて、ツール・ド・九州を行わせていただきまして、福岡県については、熊本・大分とは異なりまして、周回コースではなくて北九州から大牟田まで直線コースで行いました。

こうした公道を使ったりするものに関して、警備を必ずつけなさいということで警察からも強い指導があっておりまして、2000人近いボランティアの方にご協力をいただいています。安全性の確保からも、当日、来られなくなったという方がいて、連絡がつかないとか、その代わりがないと困るので、そういったことにならないように、どこかに所属をされている方々で、ボランティアを集めてくださいと言われております。それで、スポーツ推進委員の皆様とか、皆様方の組織にもお願いがいつているのであろうと思っておりますが、会社も同様です。どこかに属しているところが集約をして出す、もし、欠席が生じた場合には、代わりを出すという形でのボランティアを求められました。

これは非常に大きな支出、それからご負担をかけることになります。実際にボランティアの方々がいらっしゃらなければもう大会の運営はできません。

これまで、指導者の育成であるとか選手の強化ということは考えてきましたが、例えば、ボランティアの方々の登録をしてというようなことは、私自身は今までそのような活動をしていなかったもので、大会毎に一緒にやっていますというようなことはありますけれども、継続してという視点を持たせていただいて、そしてボランティアの方々に何をお渡しできるのか、シビックプライドであるとか色々なこと

を検討しながら、ご協力をいただける体制を検討して参りたいと思います。

【片峯会長】

ありがとうございます。

このツール・ド・九州も事務局からありましたように、警察からは所属がないと駄目だと。大学生を多く派遣しましたけれども、どんどん厳しくなっているところがございました。それともう一つは、先日、福岡スポーツマンクラブがありましたが、バドミントン同好会の方が、国際マラソンに120人のボランティアを出しましたという話を聞いたり、海外であれば、ボランティアと寄付した人を非常に大事にします。そのようなことも踏まえて、事務局の方もよい方法があったら、よろしく願います。

以上で、この協議事項の次期福岡県スポーツ推進計画の中間まとめ案ですが、皆様方のご意見等を踏まえ、また、この出された案に対して、大きな変更ありませんでしたが、これでよろしいでしょうか。

【各委員】

異議なし

【片峯会長】

ご承認、ありがとうございました。

よき方向に進むことを念じております。

それでは続きまして、この審議を終わりました報告事項の方に移らせていただきます。

今後のスケジュールでございます。事務局、説明をお願いいたします。

【高木スポーツ企画課長】

お手元の方に今後のスケジュールについてという資料をお配りしております。

令和5年度の第2回福岡県スポーツ推進審議会、ありがとうございました。

本日の本審議会でもいただきましたご意見を踏まえまして、修正を若干させていただくことがあろうかと思っております。修正を行わせていただいた上で、11月下旬に、パブリックコメントを実施する予定でございます。

その後、パブリックコメントでいただいた意見を踏まえ、12月下旬、12月18日の週には第3回のスポーツ推進審議会を開催し、答申案について、再度審議いただきたいと考えております。12月18日の週でございます。

詳しい日程が決まりましたら、またお知らせをさせていただきます。

年末の大変お忙しい中の審議会の開催になりますけれども、大変ご負担をおかけいたしますが、なるべく早急に日程の方固めて、ご連絡をさせていただきたいと思っておりますので、大変恐縮でございますがご協力の方どうぞよろしくお願いいたします。

そして来年1月に片峯会長の方から知事に対しまして、答申を行っていただき、最終的には令和6年3月を目途に策定したいと考えております。

議会の方にも上程をさせていただくこととなりますのでよろしくお願いいたします。

当初のスケジュールから大幅に遅れまして、非常に大変なスケジュールとなりましたので、申し訳ございません。次期計画の策定まで、引き続きご協力を賜りますよう

よろしくお願ひいたします。

【片峯会長】

今後のスケジュールについてですけど何かご質問ございますでしょうか。

無いようですので私の方から、本日行われました審議会の流れと、前回の流れ、熱心に協議いただきまして、感謝いたします。

しかも、広義的なところがありながら、具体策等の熱が伝わりまして、この日がスポーツ立県の方に伝わったかなと思っている次第であります。

皆様方のそれぞれの専門家の立場から、貴重なご意見ありがとうございました。

私の方からは以上です。

では進行を事務局の方にお返しします。

【司会】

片峯会長、ありがとうございました。

それでは閉会にあたりましてスポーツ局局長の平間から一言申し上げます。

【平間スポーツ局長】

平間でございます。

本日は慎重にご審議をいただきまして、また、活発なご意見を賜りまして誠にありがとうございました。

確かに、手一杯な内容になっておりまして我々、現職員の数でどれだけのことがやれるのかなと思ったりはしていますが、スポーツ立県福岡というのを掲げておりますので、それに恥じぬようしっかり働かせていただきたいと思っているところであります。また新しい視点としましてワンヘルスという考え方もございます。

そういったところも踏まえまして今後、しっかり、やらせていただきたいと思っております。本日は誠にありがとうございました。

【司会】

以上をもちまして、令和5年度第2回福岡県スポーツ推進審議会を終了させていただきます。本日は誠にありがとうございました。

なお、机上に配付させていただいておりますスポーツ推進計画、概要版及び調査報告書については机上に置かれたままご退席ください。